

平成28年度 決算見込み

平成28年度の決算見込みがまとまりましたので、お知らせします。

問い合わせは、財政課財政担当（☎内線526）へ。

平成28年度に実施した主な事業

次の事業は「桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる主なものです。



森林・林業再生作業の様子

元気で活力ある まちづくり

- 桐生武井西工業団地周辺道路の整備
1億4,604万円
- 森林・林業再生のための基盤整備
2,281万円
- 創業促進・支援
2,231万円
- 空き店舗活用による新店舗開設支援・創業促進
1,503万円

安心して暮らせる まちづくり

- 住宅取得応援事業
4億4,719万円
- 空き家対策の推進
1,168万円
- 在宅医療・介護連携推進
891万円
- 認知症への総合支援
334万円



地域交流活動の様子



子育て支援センターの様子

子供のための 未来づくり

- 放課後児童クラブの充実
1億9,611万円
- 病児・病後児保育の充実
5,472万円
- 桐生ならではの特色ある教育
1,315万円
- 「子育て世代包括支援センター」の機能整備
1,079万円

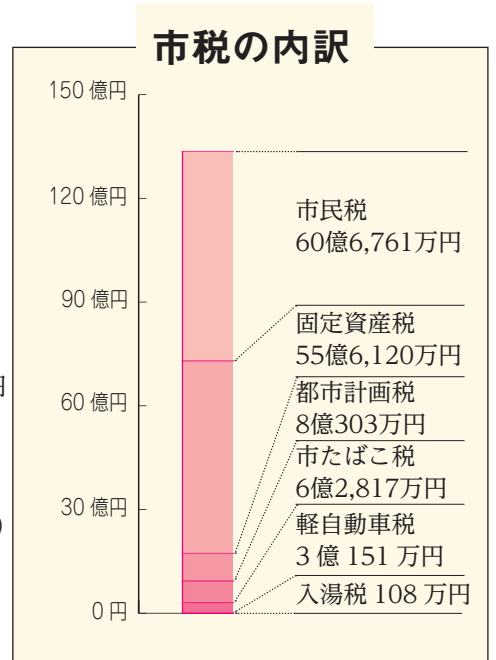
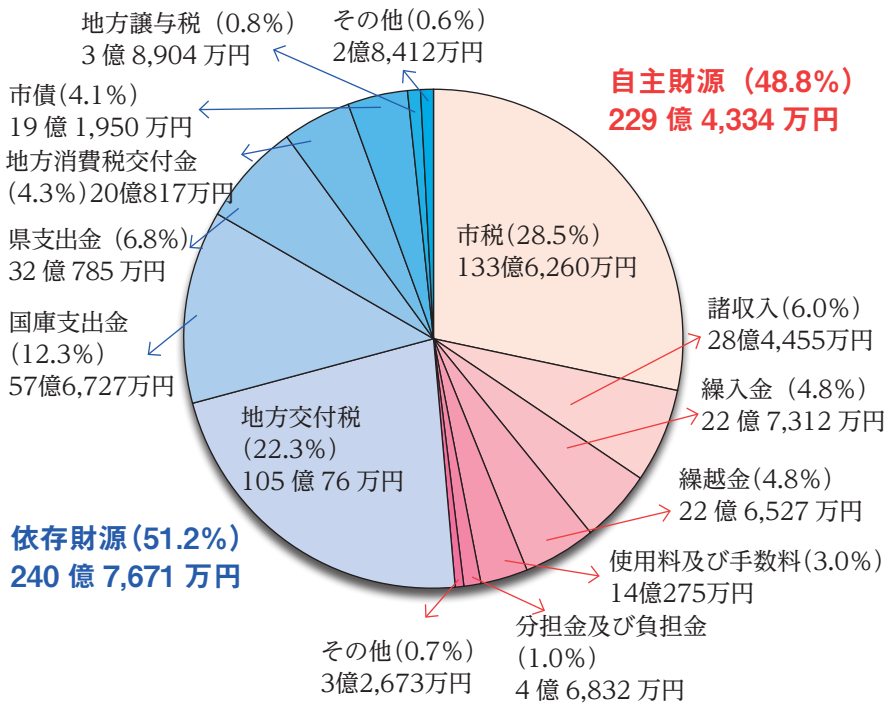
一般会計

一般会計の決算見込みは、歳入が470億2,005万円、歳出が450億2,052万円で、歳入から歳出を引いた差額の19億9,953万円は、平成29年度への繰越金や基金への積み立てとなります。

歳入 470億2,005万円

歳入は、市税など市独自の収入である「自主財源」と、地方交付税や国・県支出金などの「依存財源」に分けられます。

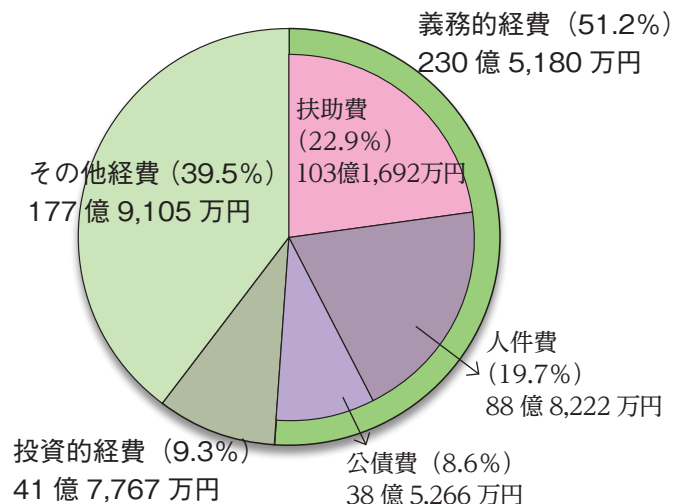
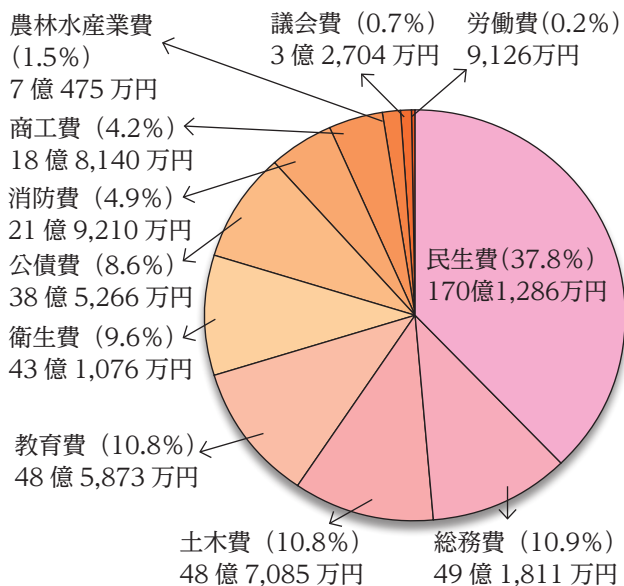
円グラフのとおり歳入全体の51.2パーセントが依存財源となっており、依存財源に頼らざるを得ない状況となっています。



歳出 450億2,052万円

目的別 円グラフのとおり福祉関係に使われている民生費が歳出全体の37.8パーセントを占め、最も多くなっています。

性質別 円グラフのとおり義務的経費は、歳出全体の51.2パーセントとなっています。また、公共施設の建設事業などに要する投資的経費は歳出全体の9.3パーセントとなっています。



※1万円未満は、四捨五入。()内は、構成比。各グラフ・表中の数字は、端数処理してあります。

特別会計

	歳入 (内、一般会計繰入額)	歳出
学校給食共同調理場事業	7 億 5,757 万円 (3 億 4,073 万円)	7 億 5,757 万円
国民健康保険事業	162 億 6,603 万円 (12 億 4,341 万円)	156 億 5,430 万円
下水道事業	33 億 5,700 万円 (15 億 3,450 万円)	33 億 5,667 万円
介護保険事業	127 億 7,326 万円 (17 億 5,321 万円)	124 億 9,191 万円
農業集落排水事業	2 億 7,216 万円 (2 億 2,518 万円)	2 億 7,216 万円
住宅新築資金等貸付事業	601 万円 (-)	361 万円
新里温水プール事業	4,347 万円 (-)	4,259 万円
宅地造成事業	607 万円 (-)	0 円
発電事業	2 億 4,679 万円 (-)	2 億 2,728 万円
後期高齢者医療事業	14 億 5,289 万円 (4 億 3,957 万円)	14 億 4,547 万円
合計	351 億 8,125 万円 (55 億 3,660 万円)	342 億 5,156 万円

※ 1 万円未満は、四捨五入

水道事業会計

平成 28 年度における水道事業収益は 23 億 870 万円、一方、水道事業費用は、18 億 5,789 万円で、差引純利益は 4 億 5,081 万円となり、前年度と比較して 13.2% 増加の見込みです。

なお、この純利益は、浄水場をはじめとする老朽化した各施設の整備や水道管の交換のほか、借入金の返済などに充てていく予定です。

収益的経費

収益	23 億 870 万円
費用	18 億 5,789 万円

建設改良事業

財源	13 億 1,034 万円
支出	13 億 1,034 万円

財産の状況

資産		負債及び資本	
固定資産	192億790万円	自己資金ほか	162億189万円
		企業債	52億6,645万円
流動資産	66億5,452万円	引当金ほか	43億9,408万円
計	258億6,242万円	計	258億6,242万円

※ 1 万円未満は、四捨五入

市有財産の状況

平成 29 年 3 月 31 日現在
(水道事業会計を除く)

土地	10,782,764㎡
建物	752,666㎡
有価証券	4,794 万円
基金	127 億 2,907 万円
(基金の内訳)	
財政調整基金	49 億 6,218 万円
その他の基金	77 億 6,689 万円
※ 1 万円未満は、四捨五入	

市債残高の状況

平成 29 年 3 月 31 日現在
(水道事業会計を除く)

臨時財政対策債	200 億 8,428 万円
下水道債	159 億 4,945 万円
土木債	53 億 3,010 万円
教育債	41 億 6,110 万円
その他	93 億 1,517 万円
※ 1 万円未満は、四捨五入	

市民 1 人・1 世帯当たりの金額 (一般会計)

使ったお金	
市民 1 人当たり	39 万 2,018 円
1 世帯当たり	90 万 1,167 円
納めたお金 (市税、使用料及び手数料)	
市民 1 人当たり	12 万 8,570 円
1 世帯当たり	29 万 5,555 円
※平成 29 年 3 月 31 日の人口 (114,843 人) と世帯数 (49,958 世帯) により算出	

用語解説

- 市税**…市民の皆さんから納めていただいた市民税や固定資産税、軽自動車税などの税金
- 地方交付税**…地方自治体が一定水準の行政サービスを提供することができるよう国から交付されたお金
- 国庫支出金**…市が行う特定の事業に対して国から支出されたお金
- 県支出金**…市が行う特定の事業に対して県から支出されたお金
- 繰入金**…基金 (市の貯金) や特別会計から一般会計に繰り入れられたお金
- 諸収入**…他市から受けたごみ処理や消防などの業務による収入や貸付金の元金利息収入など
- 市債**…国や銀行などから借り入れたお金
- 総務費**…市役所や財産の維持管理、戸籍の管理や税金の徴収などの費用
- 民生費**…福祉の充実や子育て支援などの費用
- 衛生費**…環境保全や疾病予防、健康増進などの費用
- 土木費**…道路や河川、公園などの整備・維持管理費用
- 教育費**…学校教育、生涯学習の充実、文化スポーツ振興などの費用
- 公債費**…これまでに借り入れた市債を返済する費用
- 扶助費**…児童、高齢者、障害者、生活困窮者などの支援に要した費用
- 義務的経費**…支出が義務付けられていて、任意に削減できない経費
- 投資的経費**…社会資本の整備に使われた経費